



災害看護論演習

災害看護論演習は全学年で取り組む災害救護訓練です。

将来救護活動で活躍できる看護師をめざし、3年生は救護員としての役割を、2年生は災害ボランティアの役割を学びます。傷病者役は学生全員で交代して演じ、救護を受ける人々の気持ちを学びました。

基礎行動訓練

災害現場において救護員は混乱した状況の中でも迅速かつ的確に行動することが求められます。リーダーの指示のもと全員が一致団結して行動できるよう訓練をします。全体で動きを確認したあと、各班に分かれて基礎行動訓練を行いました。



パイプ TENT 設営訓練 無線訓練

3年生が救護所となるパイプTENTの設営を実践しました。また、実際の災害時に使用される無線を使って、通信の方法を学びました。



「こちら・・・です」

折りたたみ寝台 組立て訓練

2年生が救護所で必要な折りたたみ寝台を組み立てます。素早く確実に組立てできるように訓練をしました。



炊き出し訓練

2年生が、包装食袋（ハイゼックス）を使った炊き出しを行いました。ハイゼックスは熱に強い袋に米と水を入れ沸騰したお湯で煮ると出来上がります。保存もできるので、災害時の非常食となります。この日は全学生分の昼食を作りました。



温かくておいしかったです。



応用訓練

3年生は救護員としてリーダーシップをとり、2年生は災害ボランティア役となり、3年生と共に救護を行います。2班に分かれ、交互に傷病者役割を演じました。



「地震が発生し傷病者が多数」という設定で訓練を行います。救護班が出勤し、救護活動開始です。





軽症の緑エリアでは、災害ボランティアの力を借りながら、次々に来られる被災者の傷の手当てを行います。手当てが終わっても傷病者の方々に寄り添い不安の軽減に努めています。



重症の赤エリア、中等症の黄色エリアでは、担架で搬送された傷病者の手当てを行ながら、状態が変化しないか観察を続けます。

3年生



救護員役としてリーダーシップをとった3年生、サポートをした2年生、お疲れさまでした!!!

2年生

